

集合場所

		自宅や避難場所が掲載されたページ	
項目	緊急避難場所	避難先 (第一候補)	避難先 (第二候補)
避難場所			
避難方法・所要時間	・ 分	・ 分	・ 分
家族が離散しているときの集合場所			

家族の連絡先等

氏名	血液型	電話番号(携帯・会社・学校)	メールアドレス	メモ

※家族のほか、親戚・知人などの頼りになる人の連絡先も記入しておきましょう。

持ち出し品のチェック

◆非常持ち出し袋

- 家族全員分を用意していますか？
- いつでも使えるようにしていますか？

【飲料水・食料・避難用具】

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 食料(缶詰・チョコレートなど)	<input type="checkbox"/> 懐中電灯(LEDランタン)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
<input type="checkbox"/> 靴	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 筆記用具・ノート	<input type="checkbox"/> 下着・生理用品
<input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 毛布又は寝袋	<input type="checkbox"/> 貴重品
<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー・トイレットペーパー・ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> 予備のメガネ・コンタクトレンズ	(現金・保険証など)	

【救急医薬品】

<input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> ばんそうこう・ガーゼ・包帯
-----------------------------------	------------------------------	--

【その他家庭に必要なもの】

- その他必要な品物(ミルクやおムツ等)を用意していますか？
- マスク・体温計 等

もしもの時の連絡先

火事・救急・救助要請は ➡ 119 警察は ➡ 110

災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル171 災害時に NTT より提供される「声の伝言板」です。使用方法を知っておきましょう。(※サービス開始は、テレビ、ラジオなどで通知されます。)

伝言を録音する ➡ **171** (局番なしで「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従う) ➡ **1** (1を選択) ➡ 被災した家の電話番号を市外局番からプッシュ ➡ 伝言を入れる (30秒以内)

伝言を再生する ➡ **2** (2を選択) ➡ 伝言を聞く

災害用web伝言板 スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板 (web171) にアクセスすることで、テキストによる安否情報 (伝言) の登録・確認を行うことができます。
<https://www.web171.jp/> ※各携帯電話会社でも、それぞれ、災害時に「災害用伝言板」のサービスを提供しています。

相模原市

洪水ハザードマップ

Flood Hazard Map
洪水災害予測図
홍수 재해 예측지도

(串川・道志川)
洪水避難地図

はじめに
洪水ハザードマップとは
洪水ハザードマップの使い方
① ② 近年の大雨による災害

マップの見方・使い方
ハザードマップの見方(凡例)
マイマップシールの使い方、
③ ④ 索引図

洪水避難地図
洪水ハザードマップ
(串川)
⑤ ~ ⑧

洪水避難地図
洪水ハザードマップ
(道志川)
⑨ ~ ⑭

災害情報について
情報伝達の流れ、情報の入手
先、災害時に送られる情報
⑮ ⑯

大雨等の気象情報について
大雨や洪水に関する注意報・
警報、雨の強さと降り方と災
害の危険性、川の防
⑰ ⑱ 災情報等

大雨時の避難について
風水害時の行動(タイムライン)
早期立退き避難が必要な区域、
⑲ ⑳ 避難の心得等

災害について知っておこう
浸水や洪水について、土砂災
害について、土砂災害警戒情
⑳ ㉑ 報について

日常の備えについて
家屋の風水害対策、わが家
にあわせた備蓄を、非常時に持
㉓ ㉔ ち出すものは

緊急避難場所等一覧
風水害時避難場所一覧
㉕ ㉖

令和2年9月
相模原市

洪水ハザードマップとは

What is a flood hazard map? 什么是洪水灾害图?
홍수 재해 예측지도란?

洪水ハザードマップは、大雨によって河川の堤防が決壊し、氾濫した場合に、みなさんの地域にどれだけ浸水するおそれがあるのか、また、その場合に、どこに逃げればよいのかを示した地図です。

The Flood Hazard Map is a map that shows areas with high flooding risk when river dikes break and locations of evacuation site in case of flooding.

洪水灾害地图标示着当大雨导致河堤破裂时，市内各个可能遭受洪水淹没的区域以及逃生处。

홍수 재해 예측지도는 호우로 인해 하천의 제방이 무너져 범람 한 경우, 여러분의 지역에 어느 정도의 침수 우려가 있는지, 또한 그 경우 어디로 대피하면 좋을지를 표시한 지도입니다.

洪水ハザードマップの使い方

※ 浸水するおそれのある区域（着色された区域）以外でも、浸水が起こることがあります。十分に注意してください。

ステップ ① 自宅の位置や緊急避難場所を確認しましょう。

国道・県道、鉄道、学校・公共施設などの位置を参考に、自宅や緊急避難場所を確認しましょう。

○○小学校が緊急避難場所だね。
私の家はココね、要チェック!

ステップ ② 家族や近所等で安全な避難場所を話し合しましょう。

災害のおそれのあるときに、まず安全を確保するために避難する避難場所を、自治会や町内会等で話し合しましょう。

ステップ ③ 大雨のときに危険な場所を確認しましょう。

自宅周辺にある水路・橋や浸水が想定されている区域(特に早期立退き避難が必要な区域)、土砂災害警戒区域など大雨のときに危険な場所を確認しましょう。

危険なところは避けるようにいきましょう。
げけ崩れ
浸水
土砂流

ステップ ④ 危険な場所を避けて、避難経路を設定しましょう。

大雨のときに危険な場所を避けて、避難経路を設定しましょう。

ステップ ⑤ 実際に避難経路を歩いてみて、安全か確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

こっちの道の方がいいかな

ステップ ⑥ 災害時の対応を話し合しましょう。

「自宅周辺の危険箇所」、「避難先」、「避難経路」について、家族やご近所の方と話し合しましょう。家族やご近所でこれらの情報を共有し、いざというときに協力し合うことが重要です。

ステップ ⑦ 非常持ち出し品を準備しましょう。

24ページに記載している「非常時に持ち出すものは」の項を参考にして、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。

ステップ ⑧ わが家の防災メモを記入しましょう。

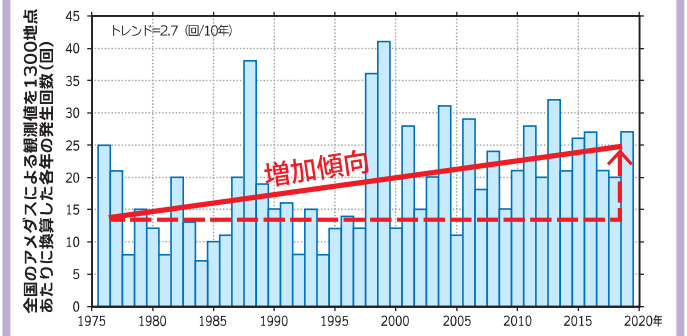
普段から緊急避難場所を確認して、添付のマイマップシールを使い、実際の避難を考えて、地図に示しておきましょう。

避難場所は...

近年の大雨による災害

ここ数年、猛烈な雨（1時間降水量80mm以上の雨）の年間発生回数が、増加傾向になっています。今後も、大雨や短時間に降る強い雨の頻度はさらに増加すると予測されており、台風や豪雨による風水害・土砂災害発生リスクが高まっています。

アメダス1時間降水量80mm以上の年間発生回数



参照：気象庁

近年、大雨による災害がほぼ毎年発生しています。

- 【令和2年7月豪雨】九州・中部地方を中心に、日本全国で集中豪雨による洪水害や土砂災害被害が多数発生
- 【令和元年東日本台風 等】東日本台風に伴い相模原市で土砂災害等の被害が発生。8月～10月の期間に、全国的な記録的大雨が多数発生し、千葉県、長野県、福島県等でも、大規模な災害が発生
- 【平成30年7月豪雨】「西日本豪雨」広島県・愛媛県の土砂災害、倉敷市真備町(岡山県)の洪水害など、広域的な被害
- 【平成29年7月九州北部豪雨】朝倉市・東峰村(福岡県)・日田市(大分県)の洪水害・土砂災害等
- 【平成27年9月関東・東北豪雨】「鬼怒川水害」鬼怒川(茨城県)・渋井川(宮城県)の氾濫等
- 【平成26年8月豪雨】「広島豪雨災害」、「2014年8月広島大規模土砂災害」では大規模な土砂災害が発生



大規模水害から命を守るために大切なことは、躊躇せず、早急に避難することです!! 少しでも被害を減らしましょう!

災害を乗り切るためには ~自助・共助及び公助の連携~

洪水や地震等の災害の発生を防ぐことはできませんが、自助・共助及び公助が連携することで、被害を減らすことができます。特に、大規模な災害が発生した場合は、直後から様々な活動が必要となり、これらの対策を行政による「公助」のみで行うことは困難です。このような状況の中で、被害を軽減し、災害を乗り切るためには、自分の身は自分で守る「自助」、地域でお互いに助け合う「共助」と、行政による「公助」がそれぞれの役割を分担し、連携して災害対策を行うことが、災害に強いまちをつくるうえで必要となります。



マップの見方・使い方

ハザードマップの見方

避難施設		凡例 Legend 图例 범례	
	風水害時避難場所 Evacuation area in case of storm and flood 暴雨洪水时的疏散地点 홍수해시 대피장소		災害から身を守るために迅速に避難する場所
	避難所 Evacuation shelter 避难所 대피소		災害により自宅に戻れなくなった場合に一定期間滞在して生活する場所
防災関連施設		水防に関する情報	
	消防 Fire department 소방		雨量観測所 Rainfall Monitoring Station 雨量观测站 우량 관측소
	警察 Police 경찰		水位観測所 Water-level Monitoring Station 水位观测台 수위 관측소
			河川監視ライブカメラ River monitoring camera 河流监控摄像机 하천 실시간 감시 카메라
			要配慮者利用施設(浸水想定区域内) Facilities for Persons Requiring Special Care and Consideration (in the flooded area) 需协助者用设施(水灾地区) 특별한 도움을 요하는 경우의 이용시설 (침수 예상구역 내)
			基本情報
			高速道路 Highway 고속도로
			国道 National highway 국도
			主要地方道・県道・その他主要道路 Main local roads/prefectural roads/other main roads 地方主要道路/县道/其他主要道路 주요 지방도로·현도로·기타 주요 도로
			県界 Prefectural border 현의 경계
			市界 City border 시의 경계

土砂災害警戒区域等 Landslide Alert Areas 土石流災害警戒区域 토사재해 경계구역 등

土砂災害警戒区域等は、土砂災害防止法(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律)にもとづき、神奈川県が土砂災害による被害を受けるおそれがある区域を調査し、その結果を区域指定したものです。

土砂災害警戒区域等

	土砂災害警戒区域(急傾斜地) Landslide Alert Area (Steep slope)	土石流災害警戒区域(陡坡) 토사재해 경계구역(급경사지)		土砂災害特別警戒区域(急傾斜地) Landslide High Alert Area (Steep slope)	土石流災害特別警戒区域(陡坡) 토사재해(특별) 경계구역(급경사지)
	土砂災害警戒区域(土石流) Landslide Alert Area (Debris flow)	土石流災害警戒区域(泥石流) 토사재해 경계구역(토석류)		土砂災害特別警戒区域(土石流) Landslide High Alert Area (Debris flow)	土石流災害特別警戒区域(泥石流) 토사재해(특별) 경계구역(토석류)

※詳細は相模原市「土砂災害ハザードマップ」を参照してください。

浸水想定区域 Estimated Flooding Area 予測淹水区域 침수 예상구역

串川・道志川・相模川流域の浸水想定区域 (想定最大規模の降雨による浸水)

串川・道志川・相模川流域で、以下の想定し得る最大規模の降雨により、各河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を表示しています。

串川降雨	24時間総雨量 269mm (神奈川県 令和元年8月30日公表)
道志川降雨	24時間総雨量 432mm (神奈川県 令和元年8月30日公表)
相模川降雨	48時間総雨量 567mm (神奈川県 平成29年3月31日公表)

浸水深 Flood Depth 淹水深 침수 수심

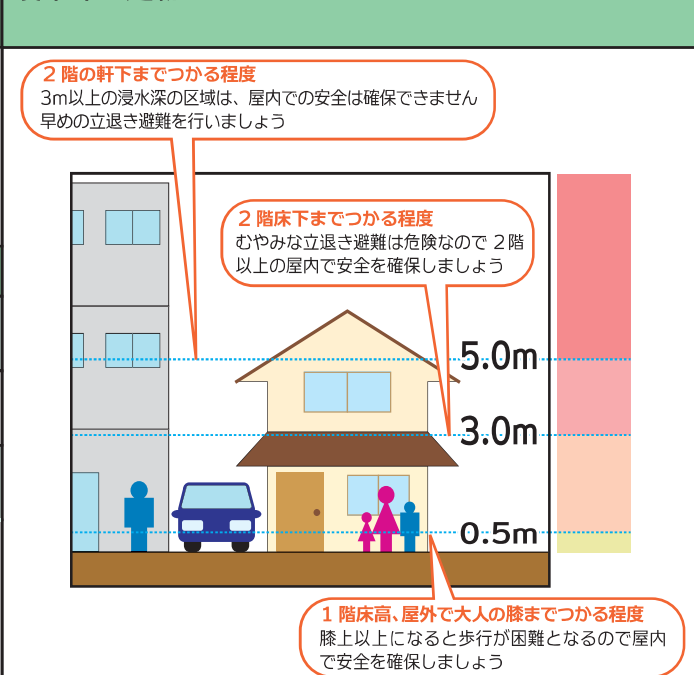
	0.5m未満の区域 Less than 0.5m / 小于 0.5m		3.0~5.0m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域		5.0m以上の区域 or more / 以上 이상

家屋倒壊等氾濫想定区域 Area with Building Collapse Risk 房屋倒塌警戒区域 주택붕괴 등 범람 예상 지역

木造家屋が倒壊するような堤防決壊による氾濫流や、河岸が削られて崩れるような侵食が発生する区域です。

災害時は、避難勧告などに従って、安全な場所に速やかに・確実に立ち退くことが必要な地域です。

浸水深と建物のイメージ



※相模原市では、防災ガイドブックを発行しています。こちらも参照してください。

マイマップシールの使い方

このハザードマップは、住民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、自ら危険箇所等を、シール等を用いて書き込める仕様としています。災害に対しては日頃からの備えが重要です。

各家庭や地域で避難場所や避難経路等を確認しマップに記入しておきましょう。

添付の

マイマップシールを貼って、より分かりやすくしよう!

災害が起こったときに避難する場所(風水害時避難場所・避難所)や、避難経路や避けるべき場所(危険箇所)などを家族で話し合ひましょう。

話し合いの結果をもとに、添付しているマイマップシールを使って「わが家のハザードマップ(マイマップ)」を作成しましょう。自宅等が載ったページに、インデックスシールも貼りましょう。



索引図

